

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2014年11月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2014年11月1日発行 通巻259(毎月1回発行)

**今年も、あと2月だ！**

**小さな事故でも起こさないで！**

## 11月号 目次

・目次	2
・10月理事会報告	吉田 理事長 3
・花博士の花便り	中原 紀代治 4
・50周年記念事業について	広木 会長 5
・ふれあいハイク報告	岡田 正勝 7
・全国ハイキング集会報告	桑原 ハイキング委員長 8
・全国自然保護集会報告	佐藤 みづ江 10
・ハイキングリレーエッセイ	吉澤 重克 11
・山行報告	斉藤 一郎 12
・ゆう便り NO9	長池 康雄 13
・県連便り	15
・11月・12月	16

### 表紙説明

10月26日(日)、第15回ふれあいハイクが行われました。館山野鳥の森に、身障者29名・県連盟から10会91名が参加しました。天候と滑る足元を気にしながら、たのしい一時を過ごしました。ハイキング前の集合写真です。

## 2014 年度第 7 回理事会報告

千葉県連理事長 吉田 哲治

■開催日時:10月16日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:ちば山、茂原、船山、松戸、東葛、かがりび、ふわく、市川、シリウス、らんたん、岳樺、民医連、自然保護、教遭、ハイキング、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、救助隊(2名)、ふれあい担当 以上22名

■配布資料

- ・14年度事故報告
- ・2014年事故防止・経験交流集会の案内
- ・2014年ふれあいハイク参加者名簿等
- ・50周年第2回実行委員会報告

■議題

1. 委員会・救助隊報告

\*教育遭難対策委員会(岡田)

- ・こまくさの男性会員事故報告
- ・事故防止経験交流集会実施要綱についての説明。今年度事故発生会からの報告の他、ふわく、松戸、ちば山よりは山行管理についての紹介を願いたい。

・参加締切りは11/22、青山まで

\*救助隊(吉田副隊長)

- ・11/8, 9で定例訓練。場所:房総の山
- ・事故防止経験交流集会2日目は救助隊による講習を行うが、内容については各会の要望を参考にする。今のところ、7点セットを使用しての講習より、身近なものを想定している。

・定例集会を第3週火曜日へ変更

・12/6,7、谷川で忘年会

\*ハイキング委員会(桑原)

- ・9/27,28、全国集会参加報告。4名参加(松戸2名、東葛2名)

\*自然保護委員会(菅井)

- ・10/11,12、全国集会2名参加
- ・2014/2/28~3/1、県連自然保護シンポジウム開催予定、40~50人規模、場所は未定

\*女性委員会(広木)

- ・委員会は台風で中止

\*組織委員会(広木)

- ・10/30委員会、アンケートの分析
- 2. ふれあいハイク関連(岡田正勝)

- ・参加者名簿最終確認

- ・会計は中村(茂原)、山崎(ふわく)→参加費は会でまとめて会計へ

3. 災害支援報告(吉田)

- ・10月の支援時、洞福寺に水仙球根40kgほど植栽予定

- ・11月のバスツアーは満員御礼

4. 代表者・理事合同会議へ向けて

- ・来年は県連総会がないことから、会計の決算・予算の他、2/15に合同会議を開催したい

- ・制度改正もあったことから、再確認の意味もあり新特別基金についての学習会予定

- ・他に議題で取上げて欲しい事項があれば役員まで

5. 50周年実行委員会報告(広木)

- ・各取組みの内容説明

6. その他

- ・会員証更新について

- ・御嶽山噴火関連

- ・一般登山道におけるヘルメット着用について

■今後の理事会日程について

- ・11月20日(木) 場所:西部公民館  
時間:19時より

## 花博士の花便り 2014年 11月

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

### 晩秋の花

10月の花では、9月から咲いている、スイフヨウ（酔芙蓉）が面白い、朝は白い花が午後にピンクに変わり夕方は真っ赤になり萎みます。この様子を酒に酔った人の顔色の変化に見立て酔芙蓉と名づけられました。朝には、2日酔いか、朝酒のせいかな？赤い花も残ります。里山では、ノコンギクやホトトギスの花が咲いています。ホトトギスの花は、鳥のホトトギスのおなかの模様に見立てて、名づけられ、夏に咲く黄色のタマガワホトトギス、ヤマジノホトトギス、ヤマホトトギス、庭には、10数年前に植えたタイワンホトトギスが咲いています。

18日、東大演習林の観察会で見た花は、サラシナショウマ、ツクバトリカブト、シラネセンキュウ、キヨスミギクなど咲いていました。

### 今月の巨木 上野村の大椎（スタジイ）

椎には、スタジイとツブラジイあり子供の頃はシイの実を拾って食べました。スタジイは4月号でも紹介しましたが、県内で多くの巨木があります。勝浦市名木の寂光寺に“上野村の千年の大椎”と呼ばれる椎は、目通り7.3m、樹高は24mあり樹齢は800年と言われ日蓮上人とかかわりが有ると言われています。主幹から二つに分かれ、さらに折れた枝にはハゼの木が生えて紅葉の時は美しい年が有ると言う、今年は台風で葉が落ちて良くないようです。



スイフヨウ



ノコンギク



タイワンホトトギス



上野村の大椎（スタジイ）

## 千葉県連盟50周年記念事業について（第2回実行委員会報告）

2014・10・16

9月11日に第2回実行委員会を開催しました。要点について報告します。

### 1、参加会・クラブ・参加者

- (1) 会代表者 東葛山の会・安彦会長、ちば山の会・平野会長
- (2) 県連理事 ・桜庭 理事（船勤労者山の会） ・斎藤 理事（ちば山の会）  
・高見 理事（東葛山の会） ・大越 理事（松戸山の会）  
・星野 理事（かがりび山の会）・岡田 理事（市川山の会）
- (3) 県連役員 ・古瀬 顧問・広木 会長・吉田 理事長・鶴田 副理事長  
・小林 会計担当・岡田 教遭委員長・菅井 自然保護委員長

### 2 議題 具体的な行事と実行委員会体制について

#### (1) 記念山行など

① 海外登山（トレッキング）・房総の山での行事など。

#### ② 担当実行委員

- ・L安彦 東葛会長 ・古瀬 副実行委員長 ・広木 実行委員長
- ・吉田 副実行委員長・鶴田 副実行委員長 ・桜庭 県連理事
- ・ふわくHCから ・君津ケルン山の会から ・茂原道標山の会から

#### (2) 50年のあゆみ（仮題）の発行（2016年記念イベントまでに）

① 県連盟活動全般から・加盟会紹介・会員数の推移・歴代役員紹介・発刊物

② 自然保護運動の歴史のまとめ（房総の自然を守る運動のまとめ）

#### ③ 担当実行委員

- ・L広木 実行委員長 ・古瀬 副実行委員長 ・鶴田 副実行委員長
- ・高見 県連理事 ・渡辺 松戸山の会 ・県連理事 ・各会・クラブの  
ベテラン会員の力を借りたい

#### (3) 千葉県連らしい行事、取り組み・特徴的な取り組みのまとめ（あゆみに編入）

① 行事 房総ロングハイク ウィークデイ山行 ふれあいハイク  
郡界尾根縦走

#### ② 担当実行委員

- ・L古瀬 副実行委員長 ・桑原 ハイキング委員長とハイキング委員会
- ・郡界尾根縦走 相馬夫妻・田中 康男 ・君津ケルンから
- ・ふれあいハイク 岡田実行委員長 ・ハイキング委員会 ・県連理事

#### (4) 自然保護の取り組みのまとめ

① 取り組みについて 房総有料道路建設反対運動 追原ダム建設阻止運動  
鬼泪山を守る運動 房総の自然の現状と自然を守る活動について

② 自然保護活動セミナーの実施（2015年3月初予定）

#### ③ 担当実行委員

- ・鵜沢 ふわくHC会長 に協力をお願いします。
- ・菅井自然保護委員長 ・小林 自然保護委員と自然保護委員会

- ・中原 県連理事

(5) 房総の山・沢についての紹介

- ① 各会で取り組んでいる、房総の山・沢の資料提供などの協力をお願いしてガイドブック的にまとめる。
- ② 担当実行委員

Ｌ吉田 副実行委員長 ・岡田 教遭委員長と教遭委員会 ・塚口 理事  
(岳 樺)・ふわくHC・君津ケルン山の会から ・茂原道標山の会から

◆ 今後の予定について

☆ 第3回実行委員会

11月13日(木) 19時より 船橋市西部公民館

☆ 次回実行委員会までに、各パート別に実行委員会を実施し、詳細について絞り込む。

・各パート別実行委員会は、メールでの意見交換で会議をフォローする。

☆ 2015年2月に予定している、会代表者会議で最終決定をする。

50周年記念事業実行委員会体制

- ・ 実行委員長 広木 国昭 (県連盟会長・ちば山の会)
- ・ 副実行委員長 吉田 哲治 (県連盟理事長・船橋勤労者山の会)
- ・ // 鶴田 秀雄 (県連盟副理事長・ちば山の会)
- ・ // 古瀬 健 (県連盟顧問・千葉こまくさハイキングクラブ)
- ・ //
- ・ 事務局長 戸石 衛 (県連盟理事・千葉民医連山を歩こう会)
- ・ 会計 小林 康男 (松戸山翠会)
- ・ 担当実行委員
  - ・ 桑原 自然保護委員長 ・岡田 教遭委員長 ・菅井 自然保護委員長
  - ・ 斉藤 理事(ちば山) ・末野 理事(君津ケルン) ・桜庭 理事(船山)
  - ・ 山崎 理事(茂原道標) ・大越 理事(松戸山の会) ・高見 理事(東葛山の会) ・三辻 理事(こまくさHC) ・岸本 理事(らんたん)
  - ・ 塚口 理事(岳 樺) ・星野 理事(かがりび) ・矢野 理事(岳人あびこ) ・中原 理事(ふわくHC) ・吉沢 理事(市川山の会)
  - ・ 森 理事(岳人倶楽部) ・吉田 理事(シリウス) ・阿部 理事(1年さくら組) ・小谷 (ACT)
- ・ 実行委員を、お願いする方。
  - ・ 渡辺(敦)(松戸山の会) 県連史の後半のまとめには、協力いただきたい。
  - ・ 郡界尾根担当・田中(康)(ふわくHC)
  - ・ ふわくHC・君津ケルン山の会 ・茂原 道標山の会
- ・ 鶴沢 ふわくHC会長には、
  - ・ 自然保護運動全般について、助言・指導・自然保護セミナー講師をお願いする。

各会・クラブのご協力をお願いします。

## 15回ふれあいハイイク報告

実行委員長 岡田 正勝  
(千葉こまくさハイキングクラブ)

- ・ 実施日 2014年10月26日(日曜日)
- ・ 場 所 千葉県 館山野鳥の森

ふれあいハイイクも15回、30年を迎えました(2年に1回)。

朝、NHKの千葉県地方の天気だと館山方面は雨マークであり心配しながら家を出る。

千葉市上空は、青空が見えている、心配してもしょうがない、参加者は集まってくる、出発だ～参加者、障害者の方は、車イス7名、自力歩行者7名、知的障害者2名、視覚障害者7名、その他の障害者2名、障害者側ボランティア4名。 計29名

県連側は10団体、ちば山の会10名、船橋勤労者山の会16名、東葛山の会19名、千葉こまくさハイキングクラブ22名、ふわくハイキングサークル11名、茂原道標山の会4名、山の会らんとん3名、君津ケルン山の会3名、松戸山の会2名、かがりび山の会1名、 計91名。

合計120名

観光バスに揺られ、館山野鳥の森に近づくにつれて、雨が強く降って来た、先行している、君津ケルンのメンバーに電話をする、野鳥の森はぜんぜん降っていないことが分かる、野鳥の森に着くと雲の切れ目から青空が見えている。

全体写真を撮り、注意事項を説明して、1班から出発する、富士見展望台を見学して、シジュウガラ峠に着いた時、1名が不調を訴えの無線が入る、急いで現場に駆けつけ、事情を聞くと「昨夜から睡眠が良く取れていない」ということでした。車イスを野鳥の森会館に取りに行き、富士見展望台まで不調者が支えられて降りて着きました。

ここから、車イスに乗せて、男性3名、女性2名で野鳥の森会館まで下ろしてもらいました。女性2名が付き添ってくれました、その後、健康は回復しましたとの連絡が入りました、帰る頃は元気で安心しました。

ハイキングも順調に行き、ピクニック広場でお昼を食べ、視覚障害者松川さんのアコウーデオンの演奏で歌を歌いました。西沢池から西沢まで往復して、また、サクラの道から戻り、来た道、今度は下り坂、慎重に滑らないように野鳥の森会館に全員無事下山しました。

ふれあいハイイクに参加者の皆様、本当に有難うございました、また、2年後に行いますので協力をお願いいたします。

県連からの実行委員は、船橋勤労者山の会・仲里さん 桜庭さん、松戸山の会・桑原さん、ふわくハイキングサークル・山崎さん、茂原道標山の会・中村さんです。

1年間委員会協力ありがとうございました。



## 第19回 全国ハイキング交流集会 IN 岐阜 参加報告

日 時 2014年9月27日(土)28日(日)一泊二日

27日 全体集会、分科会、交流会

28日 交流ハイキング(3コース)

会 場 岐阜県岐阜市・長良川スポーツプラザ

参加者 16都道府県、25会、延べ111名(千葉県連・東葛山の会2、松戸山の会2)

主 催 日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会

主 幹 岐阜県勤労者山岳連盟

テーマ 「活発で楽しいハイキングクラブを作ろう」

27日(土) 晴

役員スタッフが車の渋滞に逢い到着が遅れたので13:00開会

浦添・全国連盟理事長挨拶：長沢岐阜県連盟理事長挨拶

石川全国ハイキング委員長：基調報告「ハイキング運動を継承し、さらに発展させるために」

労山におけるハイキング運動の歴史：交流集会・ハイキングリーダー学校 一覽

京都西山ハイキングクラブ 古塩幸子氏 「クラブ活動について」報告

会員171名の運営、取組、抱負など、参考になる報告を聞きました。

倉敷ハイキング倶楽部 副会長 能瀬雅国氏「活発で楽しいハイキング倶楽部を作ろう」

倉敷ハイキングスクールなど実施して会員が現在181名に増員した。全国連盟の「個人会員制」は多額の費用を投じても百数十名程度の増員、我が会は其れを越して会員拡大を成し遂げている。地方連名にもう少し財政処置、講師派遣を含む強力な支援を要請します。と訴えていました。

次に4班に分かれて同一テーマ「どんな山行をしているか、例会はどんなふうにかいているか、役員のみ手はあるか、会員拡大と後継者育成は、会員教育のやり方、ホームページはどの様に作っているか、等々、各会の活動交流」活発な意見が飛び交いました。

終わって、夕食、交流会(各県、会、の紹介)で終了しました。



## 28日（日）晴 交流ハイキング

出発前に前日発生した、御嶽山噴火の状況と山行参加会があるか、（現会には充当者なし）で安堵、山行者の無事を祈る。

朝食後 8：30 全員集合して 3 コースに分かれて出発する。

- ① 「百々ヶ峰（どどがみね）417mコース」 約 5h 00m
- ② 「金華山 329m コース 1」馬の背登山道 約 4h00m
- ③ 「金華山 329m コース 2」めい想の小道 約 3h00m

私は③のコースに参加しました。

宿 8：30 出発—岐阜公園 8：40 準備体操 9：10—めい想の小道—岐阜城（金華山）11：30/12：00—井戸跡—展望台—七曲り登山道—岐阜公園 13：10 着 解散

めい想の小道は最初ならかな山道でしたが頂上直下は岩稜帯、急登あり、何ヶ所か展望箇所もあり、楽しめるコースでした。

岐阜城を参観して最上階にあった標識で今度噴火した御嶽山の方向に目をこらして見たが展望は良かったが霞んでいてよく見えませんでした。同じ岐阜県でも結構遠いものだった。方向に向かって皆の無事を祈って下山しました。

金華山は信長公の居城（岐阜城）とあって四方の見晴らしと堅固な要塞でここを選んだのがうなずける山でした。

二日間共上天気恵まれて勉強会もハイキングも気分よく過ごすことが出来ました。

岐阜県連の方々の努力に感謝します。



今回も、桑原ハイキング委員長に参加をお願いしました。快く引き受けてくれるので、つい「他に参加者が・・・よろしくお願いします」  
千葉県連の重鎮の元気さに、全国からの参加者もビックリしたでしょう

## 第17回全国登山者自然保護集会 in 静岡

自然保護委員 松戸山の会 佐藤 みづ江

### ◆ メインテーマ 「南アルプスを貫くリニア中央新幹線」

- ◆ 実施日 11月11日(土) 12日(日) 島田市山村都市交流センター
- ◆ 参加者 松戸山の会佐藤(記)と石川の2名(北は仙台から南は長崎 計85名)

- ◆ 11日(土) 13:40~15:00 記念講演 和田 秀樹 静岡大学名誉教授  
概要 南アルプスは1億年前の太平洋の海底の泥から出来ている。時代の違う沢山の断層がある。二軒小屋・伝付峠 活断層として目撃された証拠が無い。危険だと言うことは出来るが、こんな高い所を掘った事が無いため、どんな事が起こるかわからない。

1000m下を掘ると温泉の世界。出た水を持って行く問題。JRだけの問題ではなく、皆さんの問題でもある。それをどういうふうにするべきか。最終的には難しい問題...

講演終了後 地方連盟からの活動報告

- ・栃木 足尾の山植林活動 足尾の山に100万本の木を植えよう
- ・群馬 携帯トイレのアンケート結果  
赤城山の放射線測定結果報告
- ・奈良 若草山 モノレール設置問題 モノレール案からバス案への提案なされた鹿問題 鹿が増えて春日山原生保全に向けて「つなぐ会」入会の呼びかけ
- ・岩手 「早池峰にゴミは似合わない」実行委員会の活動

来年から携帯トイレの無人販売

夕食はバイキングで静岡の皆さんの手作りのおもてなしでおいしく頂いた。その後 アコーディオンの演奏で 山の唄を合唱し楽しんだ。

12日(日)7:00 朝食 8:000~11:40 分科会

第1分科会 リニア問題 竹本 28名参加 女性7名

- ・水問題で 佐藤 石川 参加

昨年9月に静岡市長に、南アルプスの自然を壊さない、後世に残してもらいたいと申し入れた。

- ・山梨の問題 残土の運び出し 住宅地を通るので電磁波の問題

日本山岳会の近藤さんも反対している。

本当に必要なのか?

人口が減っていくのに採算がとれるのか。意味がわからない。

山岳会として何とかしなくてはと思っている。

- ・岐阜 看板がすでに出来ている。地元では盛り上がっている。駅の近くだけが地上である

・なぜリニアなのか? 自然破壊、電磁波問題。浜岡原子力発電所から電気が引かれている。

・山の問題だけでは無い。リニアを作っても人口が減っているのも最終的には我々の税金にかかってくる 世界でこれだけ大きな工事は無い。

・水が毎秒2トンと言われているけれど、2トン以上と思われる。南アルプスはまだ活動している

- ・自然破壊が懸念される。温泉が出るので水生植物が絶滅される

・品川を出て名古屋までトンネル 地下40m 残土の問題 ガリ置場は二軒小屋とさわら島

- ・リニアは採算がとれない。

今の新幹線とペアで採算を取るのだとJRの社長は言っている。

・労山としては凍結すべき。国は許可摺ることになっている。許可が下りたらすぐ 工事を進めるので情報を公開してもらおう

第二分科会 山を汚さない壊さない 21名参加

市民ハイイクで清掃登山

携帯トイレを定着していく

第三分科会 鹿・いのしし・熊・などの実情を話し合った 13名参加

偶然にも一昨年さわら島~荒川岳~三伏峠を歩きました。このコースは歩く人も少なく自然が残っていました。シラビソの森、苔むした道、高山植物・・・このコースの下をリニアが通る計画と知り集会に参加しました。水、残土の問題等大変な事になると知りしました。最も充実した学習会でした。また静岡の皆様のもてなしに感謝いたします。静岡の皆さんありがとう。

## 大失態の山登り

市川山の会 ハイキング委員 吉澤重克

今年 5 月私たちの定例山行として群馬県の「物語山」へ行った。案内書ではそれほど難しい山ではなく特に下見は行わなかった。実際 4 時間くらいの行程で、バスで、9 時過ぎに「サンスポーツランド」に着き、3 班に分け直ちに登り始めた。私は 1 班の班長であり、ゆっくりと、最初は沢にそった道を登って行った。1 時間ほどで、沢から離れ、そこには登山口の案内板があった。そこから左の沢へ 3m ほど下り、トラバース気味の道に入りそこから歩き始めた。このとき先頭の会員が躊躇しないで登り始めたので、私も特に気に留めなくてその後に続き、他の会員も後に従った。ところが、ところがである。道がいやに荒れており、左側が斜面の道が続いていた。5 分くらい歩いたところで、この道は正式な登山道とは違うのではないかと思い始めたが、先頭はどンドン行くし、後ろには 1 班、2 班、3 班 10 名以上が続いてきたので、しばらくこのまま行ってみようと考え、心では少し動揺しながら進んでいった。30 分くらい歩いたか、これまでのトラバースが止まり、右に登る道になった。この辺からははっきりとした道はなくなり、森林作業員の通るような道になったが、ここまで来たからにはこのままどこに出るか登っていかうと思ひ、最悪の場合は引き返そうと考えていた。しかし引き返すためには今度は右側が斜面の少し危険な道を下らなければならぬ。ここでは完全に登山道ではないことは認識していたが、動揺してはならないと思ひ、注意を促しながら、とにかくある道を登って行った。同じ班に山登りの経験者もいたので、少し先に行って、様子を見てくれるようお願いし、あとからついてきた会員には少し止まってもらい、待つことにした。しばらくして道はあるので、登ってくるようにとの声があったので、10 名くらいで登って行った。登った先には少し広い場所があったが、そこは大きく高い岩の下の行き止まりであった。

この物語山には「メンベ岩」という、突き出た大きな岩があると案内書には書いてあったが、もしかしたらこれがそのメンベ岩ではないかと疑いながらも確信していた。ここからは戻らなければならないと考えたが、いろいろ調べると右手になんとか歩けそうな荒れた道がみつき、そこから下ることにし、細心の注意で皆下って行った。その時下の方で、2 班と 3 班が登って来るのが見え、声も聞こえてきた。この道を何とか下り、2 班と 3 班に合流し、ここからは物語山山頂へ向かった。

今から考えるとどうして道を間違えたのかわからないが、下山時に間違えた場所を見ると山頂の標識がすぐ横にあったではないか。やはり班長が先頭になり、分かれ道ではしっかり標識を確認しなければならず、これを怠ったことが最大の原因であった。

房総での新ハイキング山行と同じことをしてしまい、時には注意力が散漫になることもあると改めて反省しきりである。

## 山行報告

### 「秋の気配を感じ、紅葉をまとう山々を」庚申山報告

齊藤 一郎 (ちば山の会)

- 【期 日】 10月4日～5日  
【山 域】 足尾山塊 皇海山・庚申山  
【行 程】 4日 当日千葉発＝東北道＝かじか荘～庚申山荘～庚申山～庚申山荘  
5日 庚申山荘～かじか荘＝帰葉  
【メンバー】 CL 広木(国)、SL 菅井、SL 鈴木(憲)、鈴木(愛)、寺崎、鶴田、八角、大森、広木(愛)、安岡、寺門、齊藤(一) 記録

皇海山・・・庚申山荘を基点とし庚申山、鋸山を經由すれば日帰り10時間余りで往復出来る。その距離(20数Km)は、足に自信がある方々には踏破は容易いであろうが、それが無い者にとっては計画をしてはため息をつき、山行候補から外しながらもいつかは挑戦したくなる山名である。その長い行程から近年は群馬県側林道を使い、皇海橋より登る方が多いようである。会員よりの公募に意を決し、何時までも残る宿題を終わらせようと東北道を2台のクルマ、11人で北上して日光経由足尾方面を目指す。

天候具合はマズマズだが、台風に刺激され、急変することも予想される。かじか荘を過ぎ林道終点で共同の荷物を、それぞれに分担し沢浴いを歩き出す。今晚は、庚申山荘に宿を決めてある為、荷は食料だけで負担は少ない。木々の香りに包まれて登る、先頭は栃木県連の救助隊長・森さんでヒマラヤ高峰サミッターでもある。栃木労山は、庚申山荘を含め付近の山小屋三軒の管理を市より委託されている。森さんは、登山道の整備・小屋の管理を中心になって実施している。通いなれた登山道であり、我々の息継ぎを手取るように感じて休憩を入れながら案内をしてくれた。山荘は、別荘の風格を持つログハウスで、とても無人の避難小屋とは思えない。さっそく、軽めのザックで庚申山を目指し、復路はお山めぐりコースで小屋に戻る行程で歩き出す。樹林帯を抜ければ岩場の急登になるが整備されたハシゴ、クサリのお蔭で易々通過して庚申山山頂へ到着。山頂は広く展望が良いので尾瀬、群馬の山々が指向できる。正面には皇海山がドッカーリとした姿を現し、鋸尾根を経て山頂に至る稜線は、距離の短いわりにコースタイムが掛かり登り下りの多いことが推測できる。お山めぐりコースは整備されて、案内も充実し注意すれば危険無く歩けるが、アップダウンが多く所々高度感のある箇所を通過して行く。つり橋を過ぎた岩壁が庚申草の自生地である。来年6月には、小さく可憐な食虫植物を見に行きたい。

明るいうちに小屋に着き、皆が宴会の仕度に動き出した。今日の疲れを癒し乾杯し楽しい時間を過ごすも、明日の天候はどうも悪いらしい。

翌未明、外は雨。早々にリーダーは山行中止を決め、二度寝をはじめたパーティーもご飯が炊けた頃モソソリと起き出した。炊き立ての飯はうまい。

食後の腹こなしに、森さんがロープによる安全講習を実施してくれた。それぞれが自分の技能を再確認していたようだ。最後に世話に成った山荘の掃除、片付けを手分けして行い、小屋への感謝と再訪を願いつつ雨の中を下山した。



## ゆう便り NO9

2014.10.28

NPO法人「ちば労山ゆう」 長池 康雄

NPO法人「ちば労山ゆう」の正会員・賛助会員のみなさん。山々は錦秋に染まり“きょうはすこし寒いね”と言っているうちに富士山3000m上は純白の綿帽子で覆われるようになってきました。

今回は、11名と、少々小じんまりとした人数ではありましたが、東北支援のベテラン・ホヤ作業の熟達者が顔を揃え予想以上の成果が得られたようで、牡蠣殻の山の前でにんまりと満足そうでしたよ。

では、早速・・・

- 1、日時 2014.10.18(土)～19(日)曇り
- 2、参加 11名
- 3、活動場所 石巻牡鹿半島谷川浜・洞福寺、市内門脇小学校付近
- 4、宿泊場所 現地漁師さんの作業所
- 5、活動内容 ホヤ養殖用牡蠣殻の吊紐通し、水仙球根の植栽作業、バスツアーの下見

18日(土)は2ヶ所に分かれてホヤ養殖の牡蠣吊り紐通しでした。2ヶ所とも渥美家というホヤ漁師さんのお宅ですが、このあたりで渥美さ～んと呼ぶと何軒もの漁師さんから、お～い！と返答があるような地域全体が、近い関係にあるような雰囲気なのです。

前回にお話しました3世代、かわいいお孫さんの声が弾ける渥美家は、ボランティア作業もひときわ微笑ましく、楽しい環境のなかで速やかに進行していきます。

我々には、この作業はもうすでに手慣れたものとなっていますので、1日の終わりにころには、作り終えた牡蠣貝吊りの高い山ができます。

それを眺めて、今日もがんばったなど、家にいてはなかなか経験することのできない充足感が満ちてくるのです。夕食は、持参した食材で自炊をするのですが、いつも誰か腕自慢の料理人がおりメニューも豊富な食卓が現出するのです。

「男子厨房に入るべからず」という親父からの厳しい躰を厳守している私には、目を見張るほどの華やかな料理が並んで、毎度美味を堪能するのです。

19日(日)は、私を含め3名ほどが作業を抜けだして、来るバスツアーの下見調査に出掛けました。

まず、宿泊予定の小湊浜の民宿「めぐろ」を訪れます。被災後再建した木の香が匂うばかりの新築の建物で、木材の使い方も、間取り意匠もすばらしく泊まったら気持ちが良いだろうなと思える感触のよい民宿に仕上がっていました。

そこからコバルトラインという半島背稜を貫通する見晴らしの良い舗装道路を歩いて女川へ向かいます。女川では小高い丘に建つ町立病院の駐車場が被災を実感するのに良いスポットになっていて、慰霊碑がおかれ犠牲者をしのび両手を合わせます。被災の象徴的存在である横転した江島共済会館ビルが見えますが年内には撤去予定となっているとか。

学童に悲惨な犠牲をもたらした大川小学校は、いつも多くの方々が訪れて焼香台の前の長い黙祷の姿が見えるのですが、今日は静かで穏やかな陽射しがそそいでいました。裏山の裾に

学童をはじめ近郊の犠牲者の名を刻んだ大きな慰霊碑がおかれ、焼香の煙りが絶えることがありません。

ここから南三陸町へ向かうルートが長いので立寄りトイレを捜して「サンパーク」という町の総合競技場に寄りました。折からテニスの競技大会が開かれていて若人の元気な声が響いていました。屋外施設に少々問題ありと見ていましたら、別に確かな屋内施設があり事務所管理の方が“どうぞお使いください”と、にこやかに仰り、さらに、この先のキャンプ場にも綺麗なトイレがあると教えてくださるのです。しばし走り「神割岬」の大きなキャンプ場に寄ってみました。昔、近在の住民の間で地割りをめぐり紛争があったところ、俄かに鳴動し、海岸の岩礁がパリッと割れて村境を神様が明示して紛争が収まったとか。「神割岬」の由来です。なかなかの景勝地でここを“お気に入り休憩地”とすることにしました。

事務所管理の方など地域の温かな人情がしみこみました。

南三陸町は大規模な復興工事が進められていて、高い土砂山が築かれたり、仮設道路が縦横に切りまわされて車で右往左往しましたが、復興にはまだまだ遠い道のりがあるなど思わせて災害の巨大さをより深く実感させます。ここでは「防災対策庁舎」での女性職員の献身的な避難誘導放送が人の涙を誘うのですが、この建物も撤去と決められたようで遠からず消えてしまいます。

「南三陸さんさん商店街」は訪れる人影が絶えず、三陸海岸地方の復興の象徴として大きな役割を果たしていますが、きょうは比較的穏やかな人混みでした。新たに「ポータルセンター」が新設されて、被災前後の町の状況が大きな写真や遺物等によって鮮やかに表現されて津波を確かに体感することができます。建物のいくつかのブースは“切り絵”教室など地域の文化活動に供しているようです。

ひとつのお店で店前の屋台で海産物の特売をやっておりました。“こうなご”を山に盛って袋詰めのとさらに一握り加えるおかあさんの手つきが気に入って買いましたが、家に帰って好評でしたよ。

バスハイクでは、現地を見ていただくほかに要所で被災時の経験を語っていただくとうと“語りべ”の準備もしています。

一方、谷川浜のみなさんは千葉から運んだ30kgもの水仙の球根を地域の菩提寺境内に植込みました。前回は同寺の住職も植込に参加してすでにかかなりの量の球根が植えこまれました。石巻市内の門脇地区の花壇も順調に生育しているようですし、開花時の情景が楽しみです。

では、また！

#### お知らせ

12月の支援活動日は、12月6日(土)・7日(日)です。  
今年最後の支援活動になります。  
マイクロバスを予定していますので、多くの参加をお待ちしています。

# 県連たより

## 県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX： 043-306-1190  
Eメール：[rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分  
(県連事務所に常駐者はいません)
  
- ◎ 千葉県連ホームページ  
<http://www.cwaf.jp>  
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ  
事務局への問い合わせまで
- ◎ 事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax：043-271-4704  
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず  
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
機関紙委員会・広木 国昭  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先  
口座番号：ゆうちょ銀行  
00240-8-98419  
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう  
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、  
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

## NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労ゆう」への入会は  
千葉県連盟ホームページから  
入会出来ます。  
・入会申し込みは  
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>  
・「ちば労山ゆう」への問合せは  
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
  
- ・入会情報（10月末）  
正会員数 96名  
賛助会員数 114名  
合計 210名  
常時、会員を募集しています。  
入会連絡は、上記アドレスまで！  
新年度のNPO「ゆう」支援活動の  
お知らせ  
・11月15日（土）・16日（日）  
・12月 6日（土）・ 7日（日）

支援物資は常時販売中です。

下記アドレスに連絡を！

三陸・気仙沼直送の支援物資は  
支援物資担当・広木までどうぞ

「おさしみわかめ」

「さしみこんぶ」

「くきわかめ」

「すき昆布」

「とろろこんぶ」

常時在庫あり、宅配相談下さい

[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)

090-8316-2020

県連活動予定表

11月	行事予定	12月	行事予定
1 土		1 月	
2 日		2 火	役員会
3 月		3 水	
4 火	県連役員会	4 木	
5 水		5 金	
6 木		6 土	NPO支援活動
7 金		7 日	〃
8 土		8 月	
9 日		9 火	
10 月	女性委員会	10 水	
11 火	ハイキング委員会	11 木	
12 水		12 金	
13 木	50周年記念実行委員会	13 土	
14 金		14 日	
15 土	NPOバスツアー 支援活動	15 月	
16 日	〃 〃	16 火	
17 月		17 水	
18 火		18 木	理事会
19 水		19 金	
20 木	理事会	20 土	
21 金		21 日	
22 土		22 月	
23 日		23 火	
24 月		24 水	
25 火	遭対委員会・NPO役員会	25 木	
26 水		26 金	
27 木	組織委員会	27 土	
28 金		28 日	
29 土	事故防止交流集会	29 月	
30 日	(さざんかの家)	30 火	
		31 水	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者：吉田 哲治

編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ